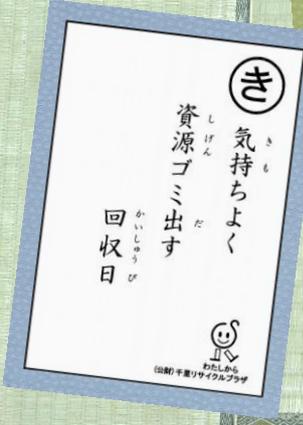
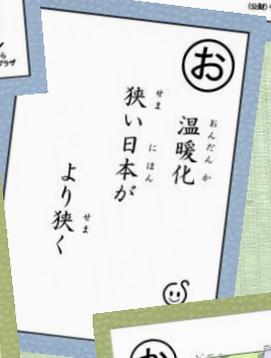
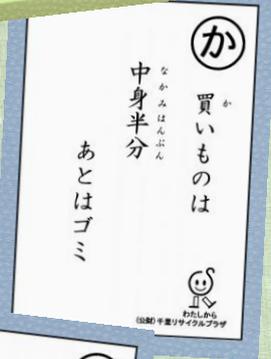
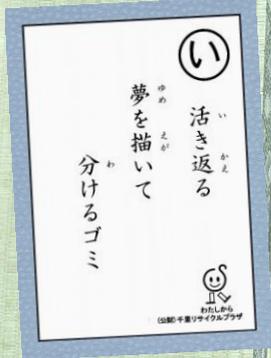
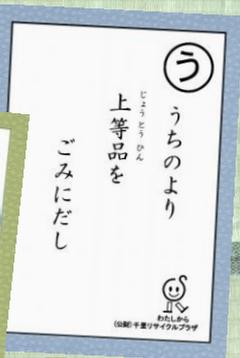


# しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

- 【目次】
- P2 TOPICS
  - P3 PT 活動報告
  - P4-5 エコ体験 PT 特集
  - P6 担当研究員コラム
- P7 市民研究所通信
- P8 1・2月の予定



新年あけまして  
おめでとうございます。  
本年もよろしく  
お願い申し上げます。



環境かるたは 応募していただいた句をもとに H14 年に作成しました。  
44 句はプラザ館内に展示しています。

# TOPICS

## 第3回環境スクール

事務局長さんの「市民研究所のあゆみ」講義の後、私たち PT は、パワーポイントを使って PT の紹介をし、「ふろしき」の体験講座をおこないました。

講座の参加者は男性 1 名を含む 14 名です。まず結び方（ひとつ結び、真結び）をマスターしてもらいました。全員が結び方を覚えたところで作品（インスタントバッグ、ウエストポーチ、すいか包み、ペットボトル、いちごバック）を時間内、取り組んでもらいました。

環境に関心度の高い方たちばかりの講座なので、集中力も高く私たちも無中になって時間を共有しました。

風呂敷包みは SDGs になかった便利なもので資源の節約につながります。風呂敷をみなおして使っておられたら嬉しいです。

（市民とお店をエコでつなぐ PT 打越明美）



## 第4回環境スクール

10月24日にくるくる環境スクールの手作りおもちゃ PT 体験を行いました。

スクール生 13 名に手作りおもちゃ PT の活動の人数、テーマ、活動内容、おもちゃの種類、などの報告を行いました。

コロナで活動が少ない中、児童がおもちゃを一生懸命に作成し、出来たおもちゃをとっても楽しんで遊んでいるのを見ると、毎回児童から元気をもらっているのが頑張るエネルギーになっています。学習支援でのエピソードを話しながら、スクール生も関心を持って聞いて頂きました。

学習支援と同じように、スクール生に『十字プロペラ』を作ってもらいました。

童心になって一生懸命作り、飛ばして遊び、我々の活動の状況を知ってもらいました。我々の PT に入り、一緒に活動をして頂けたらと思っています。一人でも多く参加を期待しています。

（手作りおもちゃ PT 綿谷一）



## PT（プロジェクトチーム）活動報告

### 市民とお店をエコでつなぐ PT

11月5日に「動画づくり」と「我が家から出るプラスチックごみの調査」について、どのように進めていけばよいのか、話し合いをもちました。そして、12月17日に、約2週間分のごみを持ち寄り、ごみの種類や重さを調べた後、チームで感想を発表しました。大変有意義な体験ができました。



なお、予定していました「動画づくり」については、次回1月21日に録画することになりました。

### 手作りおもちゃと環境 PT

毎月第1日曜日に定例会を行い、スケジュール確認やワークショップの準備をしています。

くるくるワークショップでは、11月に使用済みの紙パックを使ったびっくり箱を、12月にはサンタのUFOぶんぶんゴマを子ども達と一緒に作りました。

### エコ体験 PT

11月はメンバーの都合により定例会を中止しました。12月4日の研究実践発表会ではエコゲームを皆さんに紹介しました。12月にはメンバーが集まって、ニュースの発送作業をしながら、来年の浄水場見学に向けて打合せをしました。

### SDGs 啓発プログラム作成 PT

11月24日に、阪大環境サークル GECSの方と来年度に協力して何かできないか、お話ししました。サークル内で相談していただけるとのことで、楽しみにしています。

定例会では、来年度に向けて、一人一人がアクションプランを考えることになりました。

### 身近な環境を調べよう PT

11月20日は、午前中糸田川フィールドワーク、午後は武田先生の外来種についての講演会がありました。講演会では、他PTの市民研究員や環境スクールの受講生も参加され、充実した内容でした。

動画づくりの原案もつくり、具体的に動きたいと考えています。

### 吹田ごみゼロシステム研究 PT

11月24日の定例会において、ブログの原稿を検討、各メンバーからの進捗状況の報告、研究実践発表会の内容等について協議しました。

久しぶりに、コラム型のブログとして「プランターの土を処分するには」「ごみ庫にはお金が落ちている」の2点をブログ更新しました。今後は、ブログ更新のためのルール作りを検討していきます。



# 私の千里リサイクルプラザでのよもやま話

エコ体験プロジェクト 金子幸平

## 1. 私の「紙すき」の原点は菅原節子さん。

私は、千里リサイクルプラザ（以下くるくるプラザ）で“エコ体験チーム”で「紙すき」など環境学習支援の活動をしています。

「紙すき」のことを私に教えてくれたのが菅原さんです。私は菅原さんとは、今から18年前の2003年に吹田シニア環境大学一期生の仲間として知り合いました。菅原さんは牛乳が紙パックで販売され始めた頃から、いち早く牛乳パックは紙の資源としてリサイクルしなければならないとの思いで、片山小学校のPTAの仲間を誘って、牛乳パックの回収とリサイクルの啓発に尽力されていました。その啓発活動の一つが「紙すき」でした。

私自身はサラリーマンだったので、ごみのこと、牛乳パックのこと、リサイクルのことなど全くの門外漢でしたが、シニア環境大学の仲間と環境のことを学ぶ間に、菅原さんから菅原さんの活動を手伝ってほしいと私と西森さんが誘われたのがきっかけで「紙すき」にはまることになりました。

菅原さんは、くるくるプラザ創設当初からの市民研究員をされていたので、菅原さんから私と西森さんを度々くるくるプラザの紙すき工房につれて来て紙すきのやり方を教えてくれました。その当時、私はくるくるプラザの存在さえ知らない状態でした。

菅原さんは、当時、吹田市内で幅広く様々なことで活動されていたため知り合いが多かったようで、吹田市内の公民館や小学校から「紙すき」や「エコクッキング」などの環境学習の依頼を受けていました。私と西森さんは、その都度紙すきの道具を運んだり、道具をセットしたりして、紙すきの方法を会

得し、市民の方々や子ども達との接し方を学ぶことができました。



シニア環境大学を無事卒業した後、菅原さんは、私と西森さんをくるくるプラザの市民研究員に登録しました。私は市民研究員について何も知らない状況だったので、菅原さんの言いなりに従っていたのです。

その頃、くるくるプラザの市民研究員は、研究テーマごとにプロジェクトチームを結成して活動をするようになりました。そこで、チームの名称が必要ということから、菅原さん、西森さんと私の三人が話し合ってチーム名を「エコ体験」と決めたのでした。市民の方々、小学生の子ども達に体験しながらごみ削減のことや環境のことを知ってもらえる学習にしたいとの思いからでした。

当時は、菅原さん主体で菅原さんのついでに依頼を受けた「紙すき」や「エコクッキング」の学習に私は菅原さんにただついて行くだけでした。

また、菅原さんは琵琶湖の赤潮問題に関心を持たれて、赤潮の原因“りん酸を多量に含有する合成洗剤”の使用停止運動に熱心でした。そのため、私は菅

原さんに琵琶湖に連れて行かされて、琵琶湖の水質など様々なことを学習させられたのも今となると懐かしい琵琶湖体験でした。

菅原さんの手伝いをしているうちに、いつの頃だったか忘れてましたが、菅原さんが“腰が痛い”と言い始めたのを覚えています。そして、「ちょっと休んでくるからね」と言って菅原さんは吹田市民病院に入院されました。「エコクッキング」が北千里公民館での実施日が近づいたので、私と西森さんは市民病院に見舞いかたがた北千里公民館はどうするつもりかを確認しに行きました。菅原さんはベッドに横たわっていましたが、「エコクッキングは絶対行くから」と言われました。しかし、側に居た娘さんに「行ったらだめ！」とたしなめられて、北千里公民館のエコクッキングはお断りしたことがありました。その一週間後に菅原さんは天国に行ってしまいました。

菅原亡き後の「エコ体験」をどうしようかと同僚の西森さんと相談した結果、二人では菅原さんみたいな紙すきが出来るわけが無いと判断し、解散を決意しました。

ところが、くるくるプラザの方々の暖かい声援のお蔭で、「エコクッキング」は出来ないので、とりあえず「紙すき」一本で継続することにしました。

そうこうしている中に、シニア環境大学を卒業した生野さん・福井さん、江淵さんが「エコ体験」に入会していただいた結果、「エコ体験」は生き返ることができました。

当初、「紙すき」一本で再出発しましたが、くるくるプラザがごみ問題だけにこだわらず、広く環境問題を取り上げる姿勢になったことに伴い、「エコ体験」は、身近な環境を考える「エコゲーム」、水の有りがたさを知る「水の話」、環境に優しい「電気の話」のツール作りを行った結果、バラエティー豊かな環境学習支援ができるようになりました。

これからも、菅原さんが立ち上げた「エコ体験」

プロジェクトチーム」の火を絶やさないように、そして、菅原さんの志を継いで、チームが継続することを祈っています。

## 2. 小学4年生の施設案内の楽しい思い

吹田市や茨木市等近隣の小学生4年生が、社会見学の一環として、吹田市破碎選別工場とくるくるプラザを見学に来ます。工場を案内しながらごみのことを子ども達に考えてもらう大切な仕事「施設案内」があります。

私は、案内がへたくそにもかかわらず、長年こりずに施設案内をしています。その間に子ども達の感動した反応がいくつかあるので紹介します。

### ① リユース食器で感動

「祭りなどで大人数が使い捨て容器を使うとごみが増えるが、リユース食器を借りて使うと、有料だが、ごみが出ないリデュース効果がある。」一方、「使い捨てのプラスチック容器は大量の燃焼ごみとなって二酸化炭素を発生するし、海に流れたら海生物に害を与える。」などなど子ども達に説明したら、女の子の一人が「リユース食器は Win, Win, Win なんだ」と叫んで喜んでいたので感動しました。

### ② 牛乳パックは資源ごみなので、ごみ置き場にだしてねと説明したら・・・

「エコ体験」は、牛乳パックのリサイクル意識のアンケート調査をしています。その結果、牛乳パックをリサイクルする目的で、資源ごみの処理をする人は50%、燃焼ごみにしている人が50%というのが実情です。

そこで、施設見学に来た4年生に「吹田市では、以前は、牛乳パックはスーパーなどの回収ボックスに持参していたが、年寄りの人や足が不自由な人に配慮して、今は、資源ごみとして各自のごみ置き場に出すようになった」と説明したら、男の子が「だったら、ペットボトルもそうしてほしい」と言ったのに感動しました。

## 必ずや名を正さんかー「SDGs」とは

主担研究員 内田慶市

孔子は『論語』の中で、弟子の子路が「衛公が先生を迎えて政（まつりごと）を行うとしたら、先生は先ず何をなさいますか？（子路曰、衛君待子而爲政、子將奚先）」と問うたのに対して「必ずや名を正さんか（必也正名乎）」と答えている。また、その理由は「名、正しからざれば、すなわち言、順（したが）わず。言、順わざれば、事、すなわち成らず（名不正則言不順、言不順則事不成）」とする。つまり、言語というのは名と実が一体となって初めてその機能を発揮するのであり、名実がかけ離れたり、虚しい言辞を弄しては何事も成就しないと述べているのだ。孔子は更に「巧言令色、鮮（すくな）し仁」と述べていることもよく知られていることである。

さて、今の日本では分かったようで分からない言葉、とりわけ、カタカナ語や横文字が横行している。ある著名な知事はその典型であり、その発話にはこの手の言葉が次々飛び出してくる。しかし、一般大衆にとっては、そんな言葉は無縁なのだ。孔子に言わせれば、そんな言葉で「政」など成せるはずはないのである。

もちろん、その方だけでなく、メディアも同様だ。曰く「コンセンサス」「コンプライアンス」「ガバナンス」……。そして今世界で叫ばれている「SDGs」もその一つである。

もちろん、SDGs とは何かについては、例えば、ウィキペディアでは以下のように簡潔に説明はされている。

持続可能な開発目標（英語：Sustainable Development Goals、略称：SDGs）は、17の世界的目標、169の達成基準、232の指標からなる持続可能な開発のための国際的な開発目標。ミレニアム開発目標（MDGs: Millennium Development Goals）が2015年に終了することに伴って、2015年9月25日の国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』（Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development、または単に2030 Agenda とも）に記述された2030

年までの具体的指針である。

しかし、先ず「Sustainable」すなわち「持続可能」という訳語が普通の人には理解できないだろう。一体、何を「持続」するのか。ここはやはり長くはなるが、「この地球で暮らし続けていける」といった補足説明が必要なのだ。「紛争や気候変動、コロナに典型的な感染症などに対してこの地球で人類が安定して暮らし続けていける社会にするために人は何をすべきか」という風に。こうしたことを声高に叫ぶ人々には、そうした言葉における「優しさ」が欠けているのである。

「アジェンダ」についても同様だ。ユニセフのSDGsのページでも「具体的な17のゴール・169のターゲットを示したそのアジェンダの前半には……」とあるが、実はこの「アジェンダ」については私も今一歩どのように解釈、説明すべきか迷うときがある。英語の辞書には「重要課題」「協議事項」「予定」「覚え書き」といった意味が載せられているが、さて、最も適当な訳はどれなのか？ 結局は、皆、分かったつもりで使っているに過ぎないのである。「ターゲット」「ゴール」にしても曖昧である。

また、目標5のターゲットである「ジェンダー平等を実現しよう」にしても、どうして「性の平等」とか「男女平等」とか言わないのか。「パートナーシップで目標を達成しよう」と言われても、「何の湿布？」となる可能性だってあるのである。「協力関係」とか言えば済むことなのだ。「科学技術イノベーションとその活用に関する南北協力」にしたってわざわざ「イノベーション」を使う必要はどこにもない。ちなみに、これが中国語だと、基本的にはすべて意識になっている。今、紙幅の関係で例を挙げることはしないが、一度、ユニセフの中国語のページをご覧になることをお勧めする。

いずれにせよ、SDGs が実は地球に暮らしている一人一人の身近な問題だと多くの人に自覚してもらうには、先ずは「言を正す」ことから始めるべきなのだ。別の言い方をすれば「SDGs」を大上段に振りかざさないことだと私は考えている。

# 市民研究所通信

10月に行ったくるくる環境スクールの中で、プロジェクトチーム（PT）の皆さんに活動内容の紹介をしていただきましたが、そのアンケートの中から「もっと知りたいという」意見をピックアップしてみました。

【アンケートから】

## ① 市民とお店をエコでつなぐ PT

- 風呂敷・バンダナの活用がもっと他にあれば
- いろいろな物の包み方、はこぶ方法
- 「ごみの研究」の内容
- 紐のいろいろな結び方と、簡単なほどこき方
- 事務局長の話で日本では例外的にごみが焼却されているとのことだったが、食品の包装ごみがとても多いが、海外で焼却されない国ではどうしているのか気になった

## ② エコ体験 PT

- パルプ液の濃度
- 製紙会社で紙をリサイクルするより、紙すきでリサイクルするとどの程度環境負荷が減るのか

## ③ 身近な環境を調べよう PT

- 活動時間を教えて欲しい
- 近隣の市との違い

- 調査方法はどのように行動するのか
- 外来種植物の除草対策
- 糸田川の観察を今後どう生かされていくのか

## ④ 吹田ごみゼロシステム研究 PT

- 吹田ごみ物語、吹田ごみペディアで勉強します。

## ⑤ 手作りおもちゃと環境 PT

- 万華鏡の作り方（特にオイル万華鏡）
- 手作りおもちゃの作り方をもっと身近な場所（地域の公民館などで）教えて欲しい
- もっといろいろな手作りおもちゃの作り方などを教えてほしい
- 作り方のコピーなどあれば嬉しかった

## ⑥ SDGs 啓発プログラム作成 PT

- SDGs の今後の流れを、地球→アジア→日本→関西→大阪→吹田と現状の状況をもっと知りたい。
- 「ヒキタシのわ」子育て教育支援の NPO の活動について
- もっといろいろな、具体的な活動内容が知りたい

皆さんそれぞれ興味を持って発表を聞いていただけたようです。これらの意見が PT の皆さんの今後の活動に役立てば幸いです。

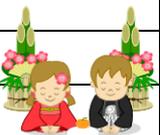
（事務局）

## 市民研究員募集中！

市民研究所では、市民研究員がプロジェクトチームを作り、自ら社会実験や実践活動を伴う調査・研究活動を行い、その成果を啓発に生かします。興味のある方は HP またはお電話でお問い合わせください！



## 研究所 1 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	休館日		
2	日	休館日		
3	月	休館日		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月	休館日		成人の日
11	火	休館日		振替休館
12	水			
13	木			
14	金			
15	土	市民研究員研修講座 ／第10回代表者会議	9:30プラザ ／13:15プラザ	市民研究員他 ／主担・代表者・事務局
16	日	定例会	13:00プラザ	手作りおもちゃと環境PT
17	月	休館日		
18	火	定例会	13:30プラザ	エコ体験PT
19	水			
20	木			
21	金	定例会	13:30プラザ	市民とお店をエコでつな ぐPT
22	土			
23	日			
24	月	休館日		
25	火	定例会	10:00プラザ	吹田ごみゼロシステム研 究PT
26	水			
27	木			
28	金			
29	土	つながり広場 ／定例会	10:00プラザ ／10:30プラザ	市民研究員他/ 身近な環境を調べようPT ●
30	日			
31	月	休館日		

## 研究所 2 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	第11回代表者会議	13:15プラザ	主担・代表者・事務局
6	日	定例会	13:00プラザ	手作りおもちゃと環境PT
7	月	休館日		
8	火			
9	水			
10	木			
11	金	休館日		建国記念の日
12	土	糸田川フィールドワーク	9:00糸田川	身近な環境を調べようPT
13	日	休館日		電気点検
14	月	休館日		
15	火	定例会	13:30プラザ	エコ体験PT
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	休館日		
22	火			
23	水	休館日		天皇誕生日
24	木			
25	金	第5回研究運営委員会	14:00プラザ またはZoom	主担・代表者・事務局
26	土			
27	日			
28	月	休館日		

は、資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。